

文化・スポーツ課からお知らせ  
生涯学習支援美術講座 美学受講者募集

時・内

第1回 6月 8日(土) ゆるキャラ絵画の元祖・大津絵  
第2回 6月15日(土) 浮世絵・美人画の魅力  
第3回 6月22日(土) 滋賀の仏教美術を巡るバスツアー  
第4回 6月29日(土) 江戸の禅画とワークショップ  
第5回 7月20日(土) 日本刀の歴史  
いずれも午後1時～2時30分

所 佐川美術館 副 佐川美術館学芸員 ほか

対 高校生以上の人 定 先着40人

料 5講座：市民10,000円、一般15,000円(入館料、教材費、バスツアー代含む)

1講座：市民1,000円、一般2,000円。ただし、第3回講座は市民7,000円、一般10,000円(バスツアー代を含む)

※受講料は初回に徴収。

※バスツアー代には昼食代、拝観料を含みます。

特 運転免許証など住所が確認できるもの、筆記用具、メモ用紙など

用 4月16日(火)～6月7日(金)に名前、住所、電話番号、性別、年齢を記入し、ファクスまたはメールで下記へ。全講座受講者を優先。1講座のみ受講希望の人は、6月1日(土)以降に受講の可否を連絡します。

他 全講座修了者に、令和2年3月29日(日)まで入館が無料になる修了証を交付。

問 佐川美術館「美学」係

☎(585)7800 ☎(585)7810

✉art\_sagawa@sagawa-artmuseum.or.jp

文化・スポーツ課からお知らせ  
「守山市民の日」と佐川美術館特別企画展

●守山市民の日を実施

守山市民は佐川美術館に無料で入館できます。また、開館時間も延長されます。

時 4月19日(金)午前9時30分～午後6時

(最終入館：午後5時30分)

持 市内在住であることを証明するもの

●特別企画展「木梨憲武展 Timing～瞬間の光り～」開催

ロンドンで披露した新作を中心に、アーティスト木梨憲武の150点以上の作品が展示されます。ぜひご覧ください。

時 4月6日(土)～5月19日(日)午前9時30分～午後5時  
(最終入館：午後4時30分)

※4月29日(月・祝)、5月6日

(月・振休)を除く月曜日と

5月7日(火)は休館

料 中学生以下：無料(保護者同伴要)

高校・大学生：600円、

一般：1,000円

問 文化・スポーツ課

☎(582)1169

☎(581)2733

佐川美術館 ☎(585)7800



《とりのうた》2014年  
©NORITAKE KINASHI



佐川美術館  
アートコラム⑩

枯れない花をライフスタイルに

公益財団法人佐川美術館  
学芸員・馬場まどか



花を愛するという文化は、日本人に際だった文化です。時代を遡れば奈良時代には梅を楽しみ、平安時代以降は桜をと、特に春は植物の芽吹く季節として、花見など花を愛でる文化に接する機会が増えます。

四季のある日本では、季節ごとの花が私たちを楽しませてくれます。膨らむ蕾に希望のイメージを抱き、満開の花に心奪われ、散りゆく花に儚さを感じる。それはまるで人間の一生のように、花に自分自身を重ね、寄り添い生活しているように思います。

絵画の世界でも「花」は普遍的なテーマとして扱われてきました。宗教画では聖母マリアの純潔の象徴として百合が描かれ、16世紀のオランダ絵画では花卉図が盛んに描かれました。近代では印象派の巨匠・モネが睡蓮を描いて光の変化をキャンバス上に表現するなど、現在に至るまで多くの画家が「花」をテーマに描いてきました。芸人だけでなくアーティストとして活躍する木梨憲武さんもその一人。身近なモチーフを題材に絵を描く木梨さんは、「花」を描くことで見る人が元気になればと思つたそうです。妄想の中でこんな「花」があればいいのという木梨さんの思いが可視化された作品を見ると、明るい気持ちになれる気がします。現実の花は、蕾膨らみ、咲き、やがて枯れる、そこがまたいいところですが、時間をキャンバスの中に閉じ込めることができる絵画の世界では、花は枯れません。枯れない花を描き続けたいという木梨さん。彼の描き出す「花」は今後も私たちの心を彩り続けていくはずですよ。